

一般財団法人 地図情報センター  
令和4(2022)年度事業計画  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 地図学・地理学に関する研究（含地図・地理教育）

- 1-1 地図及び地図資料の情報化のための調査研究  
当財団及び関連機関が保有する地理空間データの有効活用、学術研究の継続と、地図・地図資料の情報化に向けた調査研究を行う。
- 1-2 所蔵資料データベースの総括  
所蔵地図資料・書籍のデータベース整備を継続する。
- 1-3 地域の変化に関する情報の研究  
地域の変化に関するデータベース「地域情報ニュース」を継続する。
- 1-4 インターネット関連事業の充実  
Web関連事業の一層の充実を図る。特にモバイル対応やネットバンキングを強化する。
- 1-5 研究のための関連団体・個人との連携協力  
内外の地図・教育関連諸団体や個人とのネットワーク化を推進する。
- 1-6 受託事業の実施  
地図・地理の普及・啓発や地理教育に関する受託事業を実施する。

2. 地図・地図資料の普及・啓発および地図・地理を主とした教育振興事業

- 2-1 地図・地図資料の研究に関するセミナー、シンポジウム等の開催
- 2-2 地図・地図資料に関する普及・啓発活動への支援  
地図展等への協賛（「身のまわりの環境地図作品展」多摩市、「児童生徒地域地図発表作品展」鳥取県、地理オリンピックなど）
- 2-3 地図・地図資料の普及・啓発のための行事  
巡検・セミナーの開催（要コロナ対応）  
日本地図学会定期大会への参加（要オンライン対応）
- 2-4 事業委員会での普及・啓発活動関連事業  
「地理トレーニング」等、新規・編集協力出版物の継続
- 2-5 実践マップスキル（MS）研究会  
「実践マップスキル研究会」再開の検討（要コロナ対応）
- 2-6 ICT（インターネット技術）の活用  
Webの商用利用や会員確保に関する調査および事業の推進
- 2-7 表彰の検討  
地図・地理知識の普及・啓発を行った個人・団体への表彰の検討

### 3. 地図資料室の運営

- 3-1 地図・地図資料の収集・管理
- 3-2 地図資料・情報の提供  
原資料および電子媒体による地図情報の提供
- 3-3 所蔵目録の継続整備
- 3-4 デジタルアーカイブの充実

### 4. 地図・地図資料の普及・啓発および地図・地理を主とした出版物の刊行

- 4-1 研究機関誌「地図情報」の刊行（年4回）42巻1～4号（通巻161～164号）
- 4-2 地域変更情報「地域情報ニュース」（AiN）の刊行（月刊）
- 4-3 ニュースレター「ICICニュース」の刊行（年4回）
- 4-4 「地理統計」への「国と国旗ハンドブック」データ提供（年1回2月）
- 4-5 その他地図・地理関係出版物・電子ブックやグッズの企画
- 4-6 事業内容・研究成果のメディア・Web広報

### 5. 委員会等

- 5-1 理事会（常任理事会）の開催
- 5-2 評議員会の開催
- 5-3 各委員会の開催
  - ・編集委員会：「地図情報」の編集能力向上と会員増加策
  - ・行事委員会：巡検・見学会・セミナー実施と参加者の拡充（要コロナ対応）
  - ・経営・組織委員会：財政基盤強化、収入増加・安定策の検討、人事の調整
  - ・事業委員会：既存事業の強化、新規事業の開発、収入増加策
- 5-4 財団設立40周年、一般財団法人化10周年の記念事業計画  
（40周年：2021年5月6日、10周年：2022年4月1日）
- 5-5 新型コロナウイルス感染症に対応した事業の構築